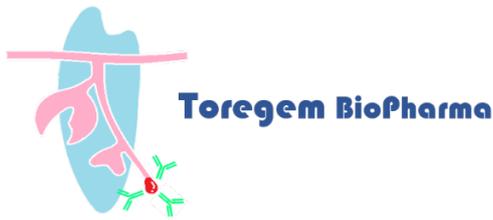


2023年7月3日



トレジェムバイオフーマ株式会社
京都市上京区河原町通今出川下る梶井町 448-5
代表取締役 喜早 ほのか
info@toregem.co.jp

資金調達実施のお知らせ

総額 3 億 8,000 万円の第三者割当増資を実施

トレジェムバイオフーマ株式会社(本社:京都市、代表取締役:喜早ほのか)はこのたび、第三者割当増資により総額 3 億 8,000 万円の資金調達を実施いたしました。新規投資家として、THVP-2 号投資事業有限責任組合(無限責任組合員:東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社)、JIC ベンチャー・グロース・ファンド 2 号投資事業有限責任組合、三洋貿易株式会社、大正製薬株式会社、既存投資家として、Astellas Venture Management LLC、Gemseki 投資事業有限責任組合が参加しています。

今回の資金調達により、TRG035(ヒト化抗 USAG-1 抗体)の非臨床安全性試験と治験用製剤(GMP 製剤)の製造を進め、世界初の歯の再生治療薬の研究開発を一層加速させ、2024 年の臨床治験開始を目指してまいります。

【トレジェムバイオフーマ株式会社について】

トレジェムバイオフーマ株式会社は、京都大学大学院医学研究科口腔外科学分野の高橋克准教授(現 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院歯科口腔外科主任部長)による長年の研究成果に基づいて2020年5月に設立された歯科領域の創薬ベンチャーです。

高橋先生らは、骨形成たんぱく質である BMP 等の働きを阻害する分子 USAG-1 が歯の発生過程に関与し、USAG-1 を抑制する中和抗体によって無歯症モデル動物で欠損歯が歯槽骨と共に回復することを明らかにしました。

一般的な歯の治療法である義歯やインプラントの人工歯に対し、抗体製剤(注射薬)による自己歯の再生は根治的な治療法と成り得る可能性があり、本研究で得られた中和抗体を新規医薬品として上市を目指します。

現在、先天性無歯症を最初の適応疾患として研究開発を進めています。先天性無歯症は患者が未成年で顎骨が発達期にあるため義歯やインプラントの適用が困難であり、成人するまで根治的な治療法の無い希少疾患です。現状は成人するまでの長期間を温存療法で耐えるしかなく、歯の欠損が栄養確保と成長に悪い影響を及ぼすため、根治的な治療法の開発が強く望まれています。そこでトレジェムバイオフーマの開発物質により、先天性無歯症患者の自己歯を再生して QOL の改善を提供します。さらに USAG-1 の中和抗体は永久歯の後の第三生歯を発生させることも期待されており、将来的には高齢者のオーラルフレイル(口腔内の虚弱)改善まで展開して歯科治療に広く貢献していきたいと考えています。

以上